

決算特別委員会資料

議案第121号

令和4年度北九州市一般会計決算について（消防局所管分）

1 歳入決算額 . . . P 2

2 歳出決算額 . . . P 2

参考 消防局主要事務事業の概要 . . . P 3～4

消防局

令和4年度北九州市一般会計決算について(消防局所管分)

1 歳入決算額

(単位:円)

款	項	目	節	予算現額			調定額	収入済額	収入未済額	
				当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費				
17	1	11	1 消防使用料	928,000	0	0	928,000	296,037	296,037	0
	2	9	1 消防手数料	42,350,000	0	0	42,350,000	29,553,000	29,553,000	0
18	1	3	1 消防費負担金(国)	5,605,000	0	0	5,605,000	0	0	0
	2	11	1 消防費補助金(国)	184,308,000	0	0	184,308,000	74,381,537	74,381,537	0
	3	6	1 消防費委託金(国)	3,000,000	0	0	3,000,000	2,959,385	2,959,385	0
19	1	6	1 消防費負担金(県)	76,000	0	0	76,000	101,000	101,000	0
	2	8	1 消防費補助金(県)	105,985,000	0	0	105,985,000	135,959,000	135,959,000	0
20	1	1	1 土地貸付収入	2,454,000	0	0	2,454,000	2,127,960	2,127,960	0
			2 建物貸付収入	5,879,000	0	0	5,879,000	5,938,956	5,930,316	8,640
22	1	3	1 市民太陽光発電所特別会計繰入金	2,000,000	0	0	2,000,000	0	0	0
24	6	4	30 消防費雑入	131,331,000	0	0	131,331,000	91,712,089	91,712,089	0
25	1	11	1 消防債	1,047,900,000	0	0	1,047,900,000	468,500,000	468,500,000	0
合計				1,531,816,000	0	0	1,531,816,000	811,528,964	811,520,324	8,640

2 歳出決算額

(単位:円)

12款1項 消防費	予 算 現 額					支出済額	翌年度繰越額	不用額
	当 初 予算額	補 正 予算額	継続費及び 繰越事業費 繰 越 額	予備費支出 及び 流用増減	計			
1目 消防職員費	9,250,257,000	123,357,000	0	0	9,373,614,000	9,291,962,848	0	81,651,152
2目 常備消防費	813,305,000	68,500,000	0	1,092,000	882,897,000	820,835,117	13,000,000	49,061,883
3目 非常備消防費	417,308,000	0	0	△ 15,040,000	402,268,000	387,105,413	0	15,162,587
4目 消防施設費	1,686,701,000	0	0	13,948,000	1,700,649,000	975,153,604	615,560,000	109,935,396
合 計	12,167,571,000	191,857,000	0	0	12,359,428,000	11,475,056,982	628,560,000	255,811,018

消防局主要事務事業の概要

(単位：千円)

区分	事務事業名	事業概要	支出済額
地域の総合的な災害対応力の強化	① 消防団の充実強化	老朽化した消防団施設の建替えを計画的に進めるとともに、活動服やヘルメット、安全靴など、装備の充実を図った。また、消防団員の活動を積極的にPRするなど、消防団への入団促進を図った。 ◆八幡東消防団第4分団本部新築 (山王一丁目)	73,739
	② 市民防災活動への支援	災害に強い安全・安心なまちづくりに向け、地域の自主防災力を向上させるため、「市民防災会」を対象とした防災リーダー研修21回(547名)の実施や、地域で開催される消防訓練等の支援を行った。	6,550
	③ 応急手当の普及啓発活動の推進	市民による救命技術の向上を図るため、応急手当の普及啓発活動を推進し、各種救命講習を598回(25,039名)実施した。	2,160
高齢者等要配慮者の安全・安心対策の推進	④ いきいき安心訪問の推進	高齢者の安全・安心の向上を図るため、消防団員が一人暮らし高齢者世帯等を訪問し、防火・防災などの啓発や、簡単な身の回りのお世話、福祉相談の関係機関への伝達などを行った。 令和4年度においては新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、訪問事業に替え、火災予防広報のチラシ等を郵送した。 (3,820世帯)	1,430
	⑤ 住宅防火対策の推進	住宅火災による死者の発生を防ぐため、高齢者世帯を中心に、住宅用火災警報器の設置、点検及び交換を促進した。	717
	⑥ あんしん通報システムの運用	高齢者世帯等を対象として、火災センサーの感知やボタンを押すことで緊急通報できる装置を設置し、緊急時、より迅速に消火・救急活動ができる体制づくりに取り組んだ。 ◆令和4年度末 稼働数：2,544台	365
			※上記の他、 保健福祉局所管分 (介護保険特別会計) 47,550

(単位：千円)

区分	事務事業名	事業概要	支出済額
あらゆる災害に対応できる消防力の強化	⑦ 林野火災対策の強化	<p>全国で頻発する大規模な林野火災や本市における林野火災の発生状況を踏まえ、その被害の軽減を図るため、林野火災に適した「環境配慮型の石けん系消火剤」を整備した。</p> <p>◆消火剤購入数 1,260L</p>	2,005
	⑧ 救急体制の充実強化	<p>高度な救急救命処置を提供できる体制を充実するため、計画的に救急救命士を養成した。</p> <p>◆令和4年度養成人数 6人</p>	14,564
	⑨ 救急隊員等の新型コロナウイルス感染症対策	<p>救急活動等における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底するため、N95マスク、感染防止用ガウン等を整備し、安全で円滑な救急活動の事業継続を図った。</p>	35,173
消防施設等の整備	⑩ 消防施設の長寿命化	<p>消防施設の長寿命化を図るため、外壁改修工事などを計画的に進めた。</p> <p>◆門司消防署松ヶ江分署（実施設計・改修工事） ◆八幡西消防団第1分団本部（実施設計・改修工事）</p> <p>他、13施設</p>	152,155
	⑪ 新型コロナウイルス感染症対策に係る非常用救急車の増台	<p>新型コロナウイルス感染症患者の搬送や救急事案が集中した場合に対応するため、非常用救急車を1台増台した。</p>	39,209